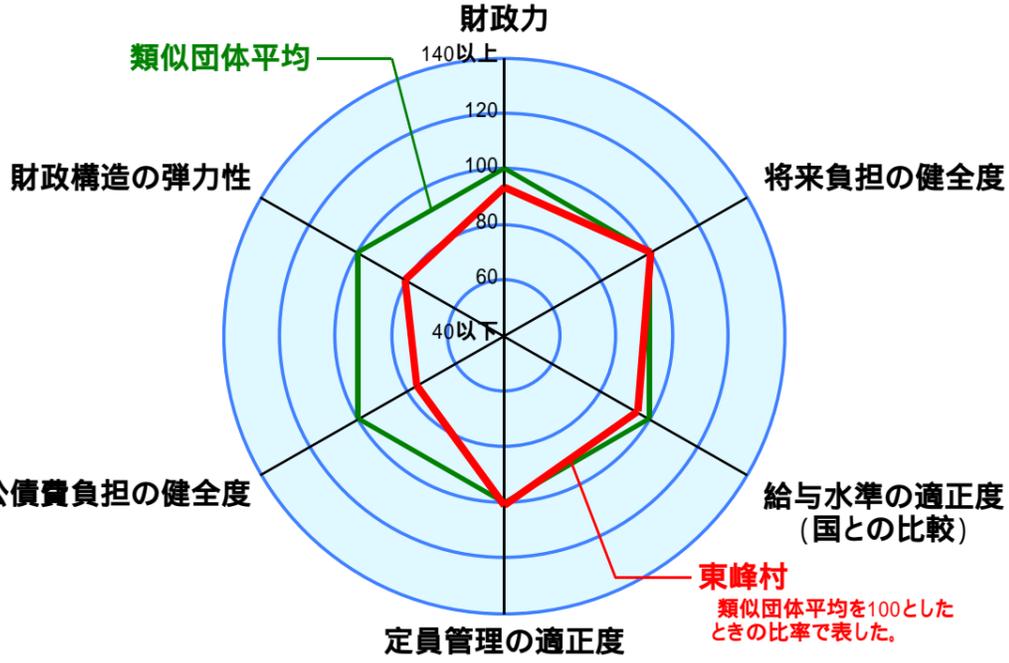
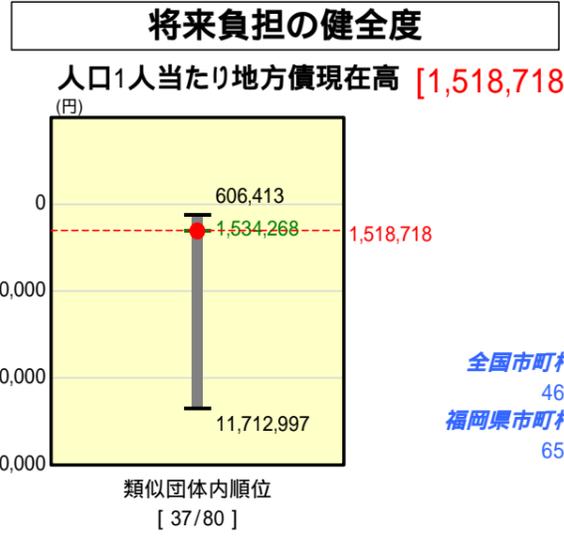
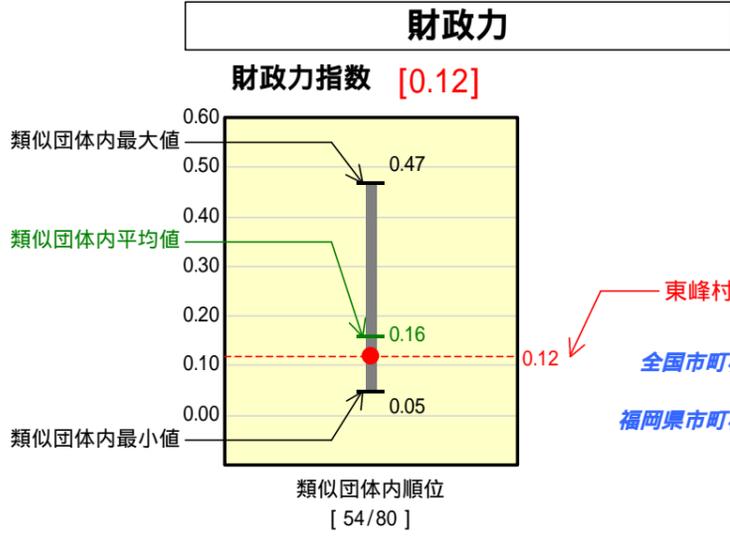


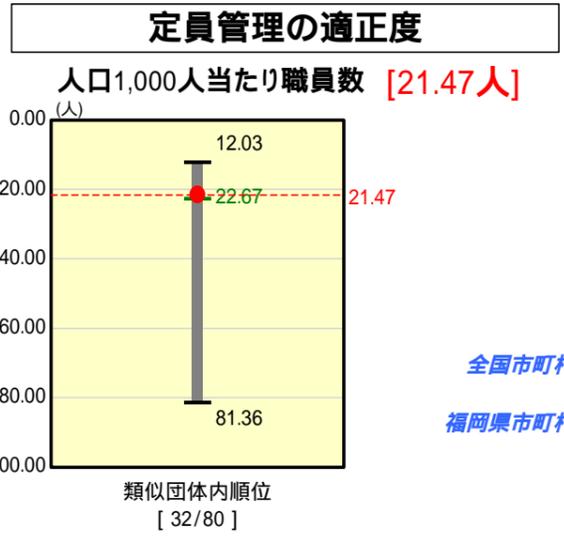
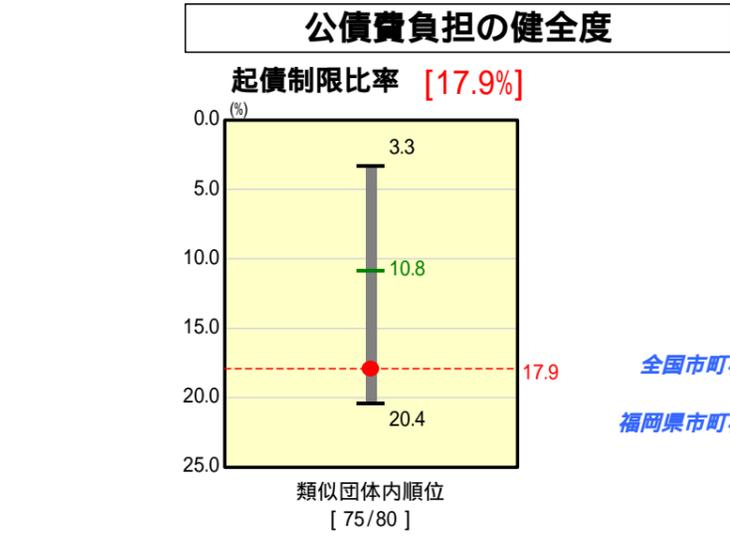
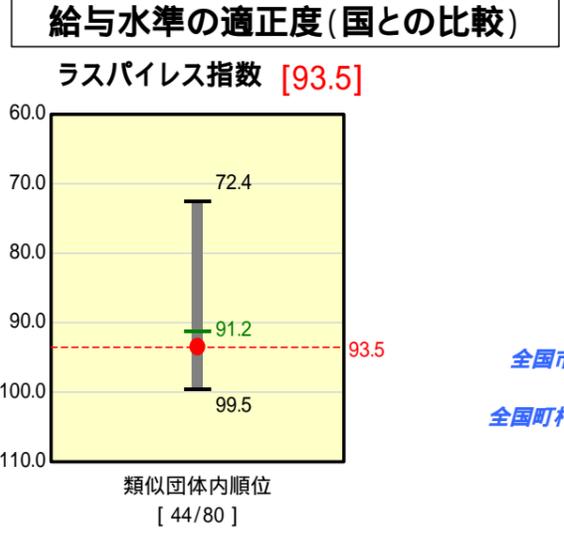
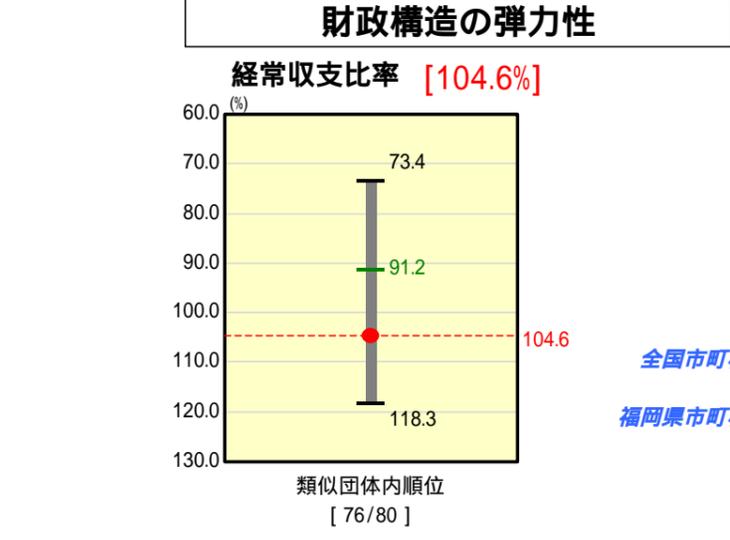
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 東峰村

人口	2,888 人(H17.3.31現在)
面積	51.93 km ²
歳入総額	4,518,701 千円
歳出総額	4,448,701 千円
実質収支	69,200 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

財政力指数
合併前の旧2村ともに0.11～0.12の範囲内でここ数年推移しており、自主財源の伸びはほとんど期待できない状況にあるが、徴収金の収入率の向上や新たな収入の創出等、自主財源の積極的な確保に努めるとともに、全ての事業において、委託料や補助金等の抑制に努める。

経常収支比率
扶助費及び公債費の増加により類似団体平均を大きく上回っている。合併を期に、人件費・物件費において更なる経常経費の削減に努めなければならない。

起債制限比率
旧2村が平成9年度から実施した大型の過疎対策事業により、公債費が大きく伸び平成17年度がピークを迎える時期にあるため、類似団体平均を大きく上回っている。今後においては、合併に関連する補助金及び交付金を最大限に活用し、過疎債を利用した事業も厳選し新規地方債の発行を最小限に止める。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均とほぼ同水準に位置するが、更なる過疎化が予想されるため後世への負担を少しでも軽減できるよう行財政改革を行い財政の健全化に努める。

ラスパイレス指数
類似団体平均をわずかに上回る水準にある。平成17年度から職員の給与カット(管理職員4%、一般職員2%)を実施したが、経常収支比率の好転が見込めない限り当分の間、更なる給与カット等を行う必要がある。

人口1,000人当たり職員数
類似団体平均をわずかに上回っている。今後においては、行財政改革による退職者の不補充、民間委託の推進を行い、類似団体平均を下回る数値を目指した中で、より適切な定員管理に努める。